

## 様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)



29 6.30

## 産業廃棄物処理計画書

29年6月30日

都道府県知事  
(市長) 大分県知事 殿

## 提出者

住 所 佐伯市蒲江大字畠野浦 1564  
氏 名 農業組合法人黒木養豚場 里木久一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0972・45・0026

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	農業組合法人 黒木養豚場
事業場の所在地	佐伯市蒲江大字畠野浦
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

## 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	農業
②事業の規模	豚550頭(肥育豚500頭、繁殖豚50頭)
③従業員数	2名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿 ① 自然堆肥化 ② 排水処理施設で処理 動物の死体 ① 処理業者へ委託処理

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表理事

廃棄物処理方針の決定、廃棄物処理に関する各種事項の決定承認

従業員

廃棄物処理計画の作成、

委託契約の締結事務

産業廃棄物管理票の交付、管理

行政等への各種報告

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度(28年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	1.268 t	0.6 t
①現状	(これまでに実施した取組) 該当なし		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	1.268 t	0.6 t
②計画	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん便	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	284 t	t
(これまでに実施した取組)			
施肥化 排水処理			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん便	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	284 t	t
(今後実施する予定の取組)			
施肥化 排水処理			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん便	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
②計画	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	984 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん便	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	884 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（ <u>28</u> 年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)	該当なし	
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)		該当なし	

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（ <u>28</u> 年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	重力物の死体	
	全処理委託量	0.5 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物処理業者に委託し処理する。			
※事務処理欄			